

## 2022 年度放課後等デイ「おおぞら」自己評価表

2023 年 3 月 1 日

「おおぞら」では厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」の観点に基づき、「おおぞら」が提供する支援のより一層の充実を目指してスタッフ自ら支援内容を評価・点検をしています。2022 年度は下記のように自己評価をいたしましたので、ここに公表いたします。

	チェック項目	はい	いいえ	不十分	工夫点・課題点・今後に向けての取り組みなど。
環境・体制整備	① 利用定員は教室等スペースとの関係で適切か	○			平日クラスで使用する教室はやや狭いですが、1クラスの定員を少なくして対応しています。
	② 職員の配置人数は適切か	○			体育プログラムの安全確保、ひとりひとりの課題にきめ細かく対応するため、多くの人数を配置しています。
	③ 教室・施設は本人にわかりやすい構造化された環境になっているか また、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか			○	古い建造物なので、バリアフリー面では制約がありますが、手すりやスロープ、トイレなど設置可能な施設で対応しています。
	④ 教室・施設は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか			○	限界はありますが、可能な限り改築しています。今後も様々な改善を進めていきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに広く職員が参加しているか	○			常勤職員、非常勤職員を問わず参加しています
	⑥ 保護者向け評価表によって、保護者に対して事業所評価を実施して、業務改善につなげているか	○			2~3月にアンケートを取っています。
	⑦ この自己評価の結果をHPや会報で公表しているか。	○			3月に公表しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に生かしているか			○	第三者委員会は設置していません。必要があれば設置を検討します。
	⑨ 職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか			○	今年度はコロナ禍で例年に比べて十分ではありませんでしたが ZOOM も利用し、関西地区 YMCA 合同研修会ははじめ多くの研修を実施しました。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析して放課後デイサービス計画を作成しているか	○		体験時の観察、意見書、検査結果などをもとに作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況把握のため、標準化されたアセスメントツールを用いているか	○		保護者の同意を得て、WISC や K-ABC、バウム、DAM、SM などの検査を実施し、報告書及び面談で保護者に結果をお伝えしています。
	⑫	放課後等デイガイドラインの総則の「発達支援(本人支援・移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から支援に必要な項目を適切に抽出し、それを下に具体的な支援内容が設定されているか	○		多くの場合、「発達支援」になりますが、「家族支援」や「地域支援」にも配慮しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		行っています。
	⑭	プログラムの立案をチームで行っているか	○		スイミングなどプログラムによっては専門知識のある他部門のスタッフを中心に立案する時もあります。
	⑮	プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○	1 回ごとのプログラム内容は固定化していませんが、毎時間の大枠の流れは固定化して、子どもたちの不安感を軽減しています。ある程度の固定化はむしろ必要だと考えております。
	⑯	子どもの状況に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作っているか	○		学習タイムのときには個々の課題に対応して、指導しています。学習タイム終了後は集団活動を行っています。
	⑰	プログラム開始前には職員間でその日の内容や役割を打ち合わせているか	○		毎日、事前の打ち合わせ、事後の評価反省を行い、記録をとって次のプログラムに生かしています。
	⑱	プログラム終了後に職員間でその日の振り返りを行い課題をシェアし、プログラムの改善に役立っているか。	○		同上
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを全員で徹底し、定期的に確認し、児童の支援の検証、改善に役立っているか	○		同上
⑳	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6～12 か月毎にモニタリングを実施しています。	

各 機 関 ・ 保 護 者 と の 連 携	21	相談支援事業所等のサービス担当者会に子供の状況が分かるふさわしい者が参加しているか	○		管理者、児童発達支援管理責任者が出席しています。
	22	子育て支援の関係者・関係機関と連携した支援を行っているか	○		相談専門員の方や相談機関の方々と連携しています。
	23	就学前に利用していた保育所・こども園・幼稚園等との間で支援内容の情報共有や相互理解に努めているか			○ 小学低学年の場合には必要に応じて情報共有しています。
	24	他の専門機関や発達支援センターなどと連携し、助言や研修を受けているか			○ 必要に応じて助言を求めています。
	25	放課後児童クラブや児童館などとの交流や障害のない子供と活動する機会があるか	○		長期休暇の際に YMCA 内部の他事業部に通う子どもたちと共有できるプログラムを設定しています。
	26	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども支援のための会議などに参加しているか	○		奈良市障がい児通所支援連絡協議会等に毎回参加しています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達課題を共有しているか	○		毎時間、クラスでの様子を可能な限りフィードバックしています。
	28	保護者に対する支援プログラム（ペアトレ・交流会など）を実施しているか			○ コロナ禍で不十分でしたが、例年保護者交流会や公開の発達障がい理解講座を開催しています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	29	運営規則、利用者負担、重要事項について丁寧な説明を行ったか	○		契約時に 30～45 分間ご説明しています。
	30	個別支援計画について計画書を示しながら説明を行い、保護者の承諾を得たか	○		計画作成後にご説明し、署名・押印をいただいております。
	31	定期的に保護者からの悩み等に対する相談に応じ、必要な助言・支援を行っているか	○		定期的に実施していますが、今年度はコロナ禍で不十分でした。
	32	保護者会等の開催によって保護者同士の連携を支援しているか			○ コロナ禍のため、今年度は開催を遠慮させていただきました。
	33	保護者からの相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応しているか	○		臨機応変に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行して、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に発信しているか	○		本年度から「おおぞらだより」を配布しております。

35	個人情報の扱いに十分注意しているか	○		個人情報が記載されている資料は鍵つきキャビネットに保管し、フェイスブックの写真は本人が特定されないよう目隠しをして取り扱っています。
36	地域に開かれた事業運営を行っているか		○	今年度は実施できませんでしたが、発達障がいにより多くの方々に理解していただくため、毎年公開講座を開催しています。
37	様々な非常事態に対するマニュアルを作成していますか また、職員・保護者にも周知徹底していますか	○		緊急事態への対応マニュアルを作り、職員には周知しています。内容に応じて保護者にもお知らせいたします。
38	非常災害に備え、避難訓練を実施しましたか		○	職員には誘導方法も含めて実施しています。
39	事前に子どもたちの発熱や持病等把握していますか	○		保護者との交換ノートでその日の発熱や体調を書いています。また、プログラム前には必ず検温しています。
40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有していますか	○		ほかの事業部も含め YMCA 全体で共有しています。
41	虐待防止のために研修機会を確保していますか	○		奈良県主催の研修会に毎年参加しています。
42	身体拘束について、組織的に対応を決定し、保護者や子どもに説明し、支援計画に記載していますか		○	これまで、事例がなく、未実施です。今後、検討いたします。